

**大学発新産業創出プログラム プロジェクト推進型 ビジネスモデル検証支援
事後評価結果**

研究開発課題名:	ナノカーボンを用いたロバスト性逆浸透(RO)膜技術の事業化検証
研究担当者(所属・役職・氏名)	信州大学 工学部 水環境・土木工学科 准教授 竹内 健司

1. 本事業での活動目的

COI アクア・イノベーション拠点で得られたナノカーボンを用いたロバスト性逆浸透(RO)膜の技術シーズとそれを調製する大学先端工場を活用して、革新的な性能(極超低圧駆動、強靱性)を有するRO 膜・モジュールを上市する大学発ベンチャーを目指す。そのため、かかるRO 膜モジュールの事業化に向けた研究開発およびビジネスモデルの立案とそのブラッシュアップのための市場および技術検証を実施する。

2. 総合所見

事業化仮説に基づいたヒアリングを積極的に行い、市場の大きな地域での事業展開を目指すビジネスモデルを構築した点を評価する。活動期間中に構築したネットワークを生かし、事業化を実現させることを期待する。

以上